

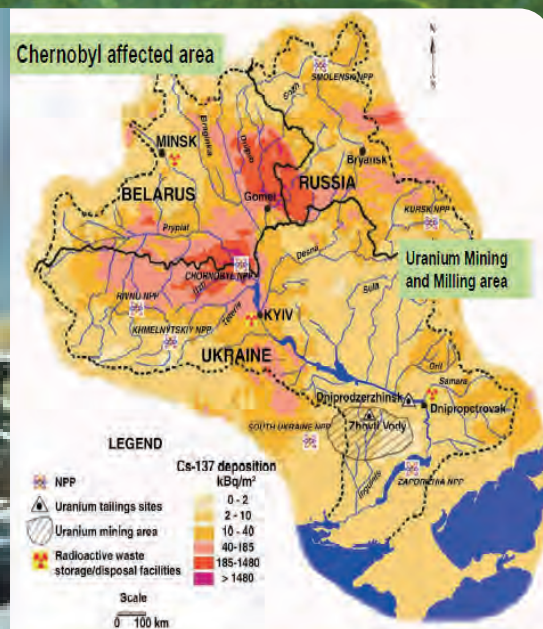


プレ戦略イニシアティブ(研究拠点提案型) H23~H25

ALL TSUKUBA NETWORK

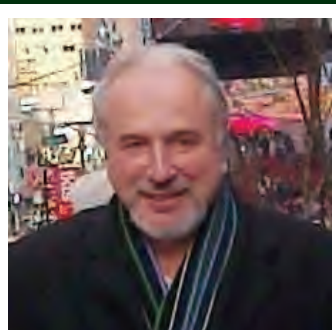
for Catchment Water Environment Study Focusing on Natural Symbiosis and Sustainability

オールつくばの連携による持続可能な流域圏水環境研究拠点



ウクライナにおける最高の学術研究機関、ウクライナ国立学士院の環境モデリング科長 Mark ZHELEZNYAK 博士が来日。チェルノブイリ事故の影響を受けたウクライナの水系汚染と生態系への影響およびモデリングに関する講演をいたします。

MONITORING AND MODELING OF WATER SYSTEM CONTAMINATION AS A BASIS FOR DECISION MAKING ON THE MEASURES TO DIMINISH POPULATION EXPOSURE DOSES VIA AQUATIC PATHWAYS IN THE AREAS IMPACTED BY THE CHERNOBYL ACCIDENT



DR. MARK ZHELEZNYAK

Head of Department of Environmental Modelling,
Institute of Mathematical Machines and Systems NAS Ukraine

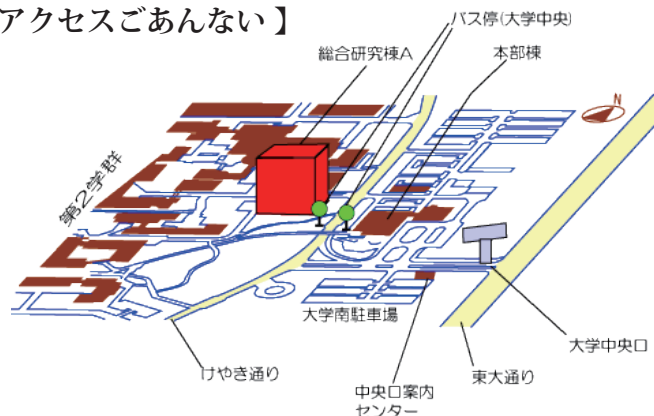
Place :

筑波大学 総合研究棟A-110 (Department of Integrative Environmental Sciences A-110)

Date+Time :

2012年10月24日(水) 16:00-18:00 (Oct.24(Wed), 2012 16:00-18:00)

【アクセスごあんない】



- 秋葉原駅からつくばエクスプレス
→つくばエクスプレス(時刻表)、
→つくば駅出口、バスターミナル
→つくばセンターから「筑波大学中央」行きバス(10-15分)
- 東京駅から高速バス(高速バス乗り場2番バス停)
→東京駅八重洲南口から「つくばセンター」行きバス(約65分)
→「筑波大学」(終点・バス停「筑波大学中央」と同じ位置)下車
- 大学構内案内
本専攻がある総合研究棟Aは筑波大学の北地区に当たり、第2学群の東側、本部棟の西側に位置します。バスでお越しの方は大学中央バス停で下車後、徒歩0分です。(下記の地図参照)。